

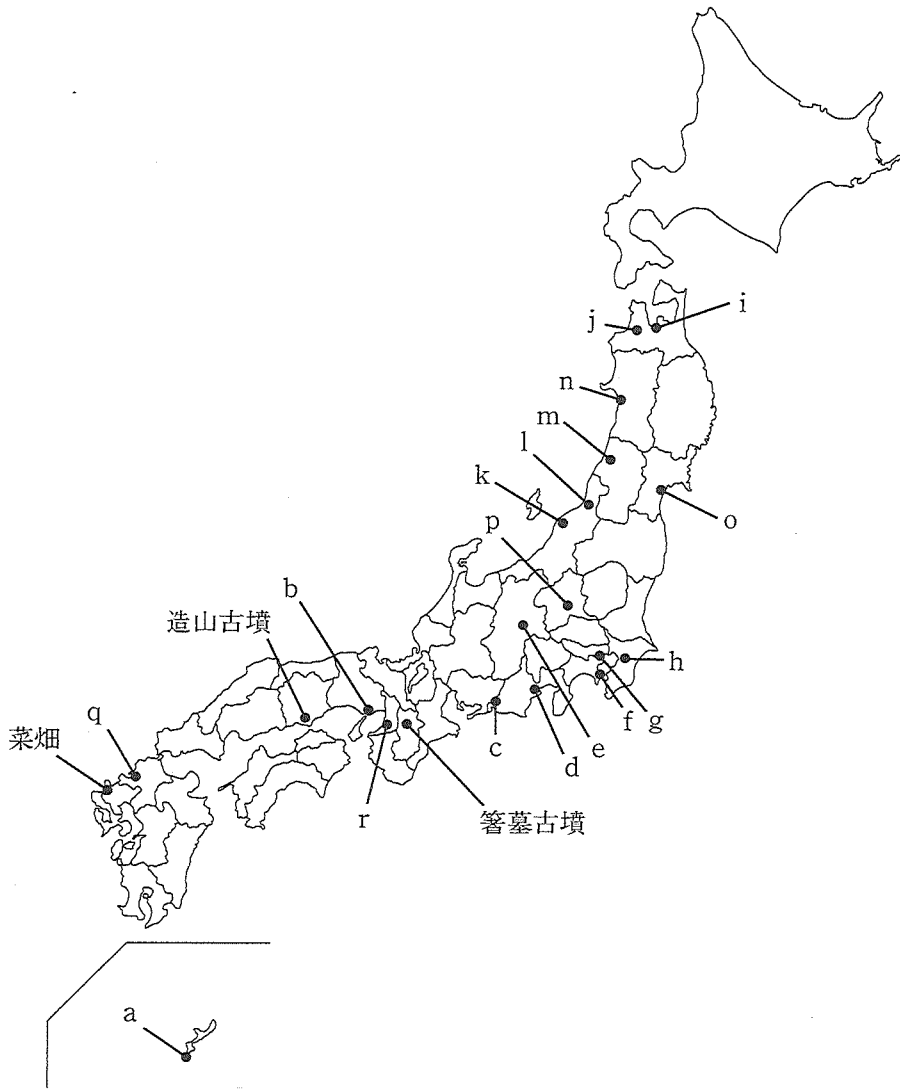
## 2016 年度 入学 試験 問題

# 日本史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の地図と文章について、それぞれの設問に答えなさい。解答は漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(30点)



旧石器時代は、地質年代でいう第四紀の **A** と呼ばれる氷河時代に当たる年代に含まれる。日本列島では化石人骨の発見は少ないが、近年では石垣島白保竿根田原洞穴人など新たな発見が続いている。戦前においては日本列島には旧石器時代は存在しないとされていたが、**D** の位置にある **B** 遺跡においてはじめて旧石器時代の石器が発見された。

縄文時代は、AMS炭素14年代測定法による年代で約15,000年前ころの氷河期が終わるころにはじまったと考えられている。縄文時代は、縄文土器型式で区分し草創期から晩期までの6期に分けられる。なお、縄文時代後期の大森貝塚を、1877年にお雇い外国人である **C** が発見し発掘したことで、日本の近代考古学がはじまったとされている。

弥生時代になると水田稲作を伴う大規模で定着的な集落が営まれた。初期の水田は、菜畑遺跡や**Q**に位置する **D** 遺跡など、西日本に多く認められる。弥生時代後期には、各地に大規模な墳丘をもつ墳丘墓が出現した。

古墳時代になると、九州から東北地方にまで、畿内の弥生墳丘墓が発達した形態の **E** 墳が広がっていく。日本で最古の **E** 墳は奈良県の箸墓古墳で、最大の **E** 墳は、**F** 古墳群に含まれる**r**に位置する古墳である。この古墳は仁徳天皇陵とされているものの、同古墳から発見された埴輪の年代と仁徳天皇の没年に差違があり、被葬者については検討の余地があるが、誉田御廟山古墳、造山古墳、太田天神山古墳などとともに古墳時代中期における大型の **E** 墳の代表例である。

6世紀末から飛鳥の地において宮都が営まれる。壬申の乱に勝利した大海人皇子は **G** 宮で即位した。天武天皇のあとを継いだ持統天皇は、689年に **G** 令を施行し、690年には庚寅年籍を作成した。そして、694年に本格的な宮都である藤原京へ遷都した。藤原宮跡から出土した木簡によって、701年の大宝令施行以前、「郡」は「評」と表記されていたことが確認されている。710年、元明天皇は藤原京から平城京へ遷都した。平城京は、784年に山背国の **H** 京に遷都するまで都として繁栄した。

律令にもとづく国家体制の整備が進むとともに、朝廷は東北地方に住む蝦夷と呼ばれる人びとに対する支配の浸透を進めるなかで、次々に城柵を築いていき、蝦夷対策の拠点としていった。

東北地方の戦いと平安京造営は、国家財政に大きな負担を強いることになり、桓武天皇は様々な改革をおこなおうとした。桓武天皇の改革は、 天皇・<sup>⑤</sup>嵯峨天皇にも引き継がれた。嵯峨天皇は法制の整備にも力を注ぎ、律令制定後に新しく出された法令を律令条文の補足・改正である格と施行細則の  とに整理・編集した。

問1 地図のaからeのアルファベットは、化石人骨の出土地の位置を示す。文章中の下線①でいう旧石器時代の化石人骨として妥当性が高いと言われている事例とその出土地の位置の組み合わせとして、正しい組み合わせを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 港川人 = a
- イ. 山下町洞人 = b
- ウ. 明石人 = c
- エ. 浜北人 = d
- オ. 三ヶ日人 = e

問2 空欄Aに入るもっとも適切な語を漢字3字で記しなさい。

問3 空欄Bに入る遺跡名を記しなさい。

問4 空欄Cに入る人物の名をカタカナで記しなさい。

問5 地図の中にfからjのアルファベットで示した遺跡は、文章中の下線②でいう縄文時代の草創期から晩期の代表的な遺跡である。遺跡名とその位置、および時期の組み合わせとして、正しい組み合わせを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 上黒岩岩陰遺跡 = f, 草創期
- イ. 夏島貝塚 = g, 早期
- ウ. 鳥浜貝塚 = h, 中期
- エ. 加曾利貝塚 = i, 後期
- オ. 亀ヶ岡遺跡 = j, 晩期

問6 空欄Dに入る遺跡名を記しなさい。

問7 空欄Eに入るもっとも適切な語を漢字4字で記しなさい。

問8 空欄Fに入る古墳群の名称を記しなさい。

問9 空欄Gに入るもっとも適切な語を漢字5字で記しなさい。

問10 空欄Hに入るもっとも適切な語を漢字2字で記しなさい。

問11 文章中の下線③に関連するできごとの説明として、適切な文章を一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 光仁天皇の780年には、帰順した蝦夷の豪族伊治皆麻呂が乱をおこした。

イ. 伊治皆麻呂は出羽柵をおとし、北上川以北を蝦夷の国とした。

ウ. 桓武天皇の789年に紀古佐美を征東大將軍として大軍を派遣した。

エ. 胆沢地方の族長アテルイが活躍し、ふたたび出羽柵を陥落させた。

オ. 坂上田村麻呂が征夷大將軍となり、802年に伊沢城、813年に志波城を築き鎮守府とした。

問12 地図の中にkからoのアルファベットで示した遺跡は、文章中の下線④でいう城柵である。城柵の名前とその位置、および設けられた年代の組み合わせとして、正しい組み合わせを一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 磐舟柵 = k, 647年

イ. 淳足柵 = l, 648年

ウ. 出羽柵 = m, 708年

エ. 秋田城 = n, 794年

オ. 多賀城 = o, 801年

問13 空欄Iには、二所朝廷と呼ばれる政治的混乱をもたらすことになった太上天皇が入る。その人物が寵愛した尚侍で、事件の後に自殺した人物の姓名を記しなさい。

問14 空欄Jに入るもっとも適切な語を漢字1字で記しなさい。

問15 文章中の下線⑤に含まれるものとして、誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 勸解由使の設置

イ. 檢非違使の設置

ウ. 定員外の国司・郡司の廃止

エ. 東北・九州を除く軍団の廃止

オ. 健児の採用

II 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(30点)

1 11世紀になると、日宋間で正式な国交は開かれなかったものの、宋の商人が頻繁に来航するようになって、私貿易が活発化した。平氏政権の成立とともに、清盛は父忠盛が関与していた日宋貿易に力を入れ、福原近郊の  を修築して、貿易の振興に努めた。

南宋との私的な貿易は鎌倉時代にも盛んに行われたが、モンゴル帝国を築いたチンギス=ハンの孫フビライ=ハンが帝国の東部を領有し、国号を中国王朝風の元と定めると、元は南宋を圧迫する一方、高麗を服属させ、ついには日本に朝貢を求めてきた。執権北条時宗を中心とする鎌倉幕府はこれを拒否したため、元は1274年の文永の役、1281年の弘安の役の二度にわたり、大軍を擁して日本を攻撃した(蒙古襲来)。

蒙古襲来ののち、日本と元の間には正式な国交は結ばれなかったものの、私的な貿易は行われた。1368年に漢民族による国家である明が建国され、元に代わって中国を支配するようになると、明は14世紀に入り活発化した倭寇の禁圧と朝貢をたびたび日本に要望してきた。それを受けて室町幕府は、足利義満の使節を明に送り、勘合貿易を開始した。

朝鮮半島では1392年に高麗を滅ぼした李成桂が朝鮮を建国したが、義満は朝鮮とも国交を開き、ここに日朝貿易がはじまった。しかし、その後も倭寇がおさまらなかつたため、1419年、朝鮮は倭寇の根拠地と目された場所を攻撃した。

④ 以上のような国家レベルでの外交・交流・争乱にとどまらず、室町時代には日本列島の北と南の境界地域において、畿内を中心とする国家の枠組みにとらわれない活動が活発化してくる。まず、南方地域に関しては、14世紀に対馬・壱岐・五島・松浦等の住民を中核とする倭寇が中国大陸や朝鮮半島の沿岸部に出没する。15世紀に至ると倭寇はいったんおさまるが、それに代わって、1429年に  が三山を統一することにより成立した琉球王国の船が、朝鮮半島からマラッカ海峡に至る広い範囲で中継貿易に活躍するようになった。

一方、北方地域においては、中世の主要な港湾に数え上げられている津軽十三湊を拠点として、同地を支配する C 氏を中心とした勢力が、北方交易により繁栄していた。同氏の支配下にあった人々のうち、蝦夷島に移住した者たちは和人と呼ばれたが、彼らの中の有力者は渡島半島の沿岸部に、今日、道南十二館と総称される居館を築き、これらの居館の周辺でアイヌとの交易を行うことで利益を得ていた。<sup>⑤</sup>

問1 空欄Aに入る港の名称を記しなさい。

問2 下線部①について、鎌倉幕府は蒙古襲来に備えて、九州北部の防備を固めるために、九州地方の武士を動員したが、これは何と呼ばれているか記しなさい。

問3 下線部②について、後醍醐天皇の冥福を祈るために、足利尊氏・直義兄弟は京都に禅宗寺院を建立したが、その造営費用を捻出するために元に派遣した貿易船の名称を記しなさい。

問4 下線部③について、15世紀後半になると勘合貿易の主体は、しだいに特定地域の商人と結んだ有力守護大名の手に握られていくが、これらの商人の居住地名と守護大名の名の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 堺—山名氏, 京都—細川氏                      イ. 長崎—大内氏, 堺—畠山氏  
ウ. 坊津—大内氏, 博多—山名氏                  エ. 京都—畠山氏, 長崎—山名氏  
オ. 堺—細川氏, 博多—大内氏

問5 下線部④について、この事件の名称と、攻撃された場所の領主の名の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 刀伊の入寇—島津氏                      イ. 寧波の乱—大内氏  
ウ. 寧波の乱—松前氏                      エ. 応永の外寇—宗氏  
オ. 三浦の乱—大内氏

問6 空欄Bに入る人名を記しなさい。

問7 空欄Cに入る一族の名を記しなさい。

問8 下線部⑤について、和人との交易をめぐるトラブルが直接の引き金となり、1457年に和人に圧迫されていたアイヌの大蜂起が発生したが、この蜂起の指導者の名を記しなさい。

2 室町時代になると、近畿地方を中心に、惣村と呼ばれる自治的な村落が登場してきた。惣村では鎮守の神社において組織された  の場で、村の宗教行事を行ったり、村政に関わる諸問題を話し合ったりした。そして、村独自の規則を制定し、違反者には厳しい刑罰を科した。<sup>⑥</sup>

この時代、志や利害、立場を同じくするものが共通の目的を達成するために協力関係を結ぶことが一般化した。こうした組織や人間関係を  と呼ぶ。

のメンバーは、一致して行動をおこす際、神に誓約することによって団結を固めた。<sup>⑦</sup>

室町時代の社会は自力救済を基本とする社会であり、武士はもとよりのこと、惣村や民衆のレベルに至るまで、個人あるいは集団どうしの私的な折衝や、時には武力抗争（私闘）によって、紛争の解決がはかられることが一般的だった。こうした状況の中、戦国大名は権力の確立をめざし、自力救済を否定して、大名の法廷における裁判で紛争の解決をはからせようとした。そのためにはまず、私闘の勃発を押さえなければならなかったが、この目的で戦国大名が採用した方法は、一般に  と呼ばれる。 の理念は、豊臣秀吉が発した、大名間の領土紛争の解決を武力（私戦）に委ねることを禁じた命令<sup>⑧</sup>にも引き継がれているが、これらの過程を経て、自力救済による紛争解決の時代（中世）から、裁判による紛争解決の時代（近世）へと、時代は転換していくことになった。

問9 空欄Dに入る語を記しなさい。

問10 下線部⑥について、村人自らが警察権・裁判権を発動することを何と呼ぶか。適切な語を記しなさい。

問11 空欄Eに入る語を記しなさい。

問12 下線部⑦について、神前において起請文を焼いた灰を入れた水をみなで飲み、心を一つにする行為を何と呼ぶか。その名称を記しなさい。

問13 空欄Fに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問14 下線部⑧に関連して、この命令に従わなかったために、豊臣秀吉に滅ぼされた大名の名を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 島津義久                      イ. 北条氏政                      ウ. 伊達政宗  
エ. 長宗我部元親                  オ. 武田勝頼



問15 戦国時代に関する記述として正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 叡尊と弟子の忍性が律宗を復興し、戒律の重要性を説くとともに、社会事業にも尽力した。

イ. 高請地としての田畑と屋敷地を持つ本百姓が村の運営にあたった。

ウ. 家臣や農民に土地の面積・収入額などを自己申告させる指出検地が実施された。

エ. 畿内やその周辺地域を中心に悪党の活動が活発化し、社会不安が増大した。

オ. 嫡子単独相続から分割相続へと所領相続の形態が変化し、惣領制が解体した。

Ⅲ 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 “天下分け目の戦い”と呼ばれる関ヶ原の戦いであるが、1600年に勃発したこの合戦での勝利によって徳川政権の基礎が盤石に築かれたとは必ずしも言いがたい。そこには、徳川氏にとって、まだ多くの課題が残されていた。

この戦いの後に、徳川家康の主導によっておこなわれた領地配分では、豊臣系武将たちに西国方面で大きな所領が与えられた。その理由は、関ヶ原の戦いで家康側に勝利をもたらした東軍の構成が、豊臣系武将を主力としていたため、戦後の論功行賞で彼らを優遇する必要があったからである。このこと背景には、関ヶ原へ軍を進めるに際して、徳川秀忠が率いた徳川譜代の主要武将たちによって構成される部隊が、信濃の上田城攻めに手間取って合戦に参加できなかったこと、逆に、家康により先鋒を命じられた豊臣系武将たちが予想以上に快進撃をくり返し、戦いの本番でも重要な貢献をしたことがあった。その結果、家康は西国に配置した豊臣系大名を慎重に取り扱わなければならなくなったのである。

家康は、1603年に征夷大將軍に任官し、江戸に幕府を開いたが、このことは家康が豊臣政権の五大老の位置を脱し、武家の棟梁の地位につく重要な契機となった。関ヶ原の戦い直後には、畿内五カ国に徳川譜代の大名を置くことはできなかったが、家康はその後、少しずつ譜代大名を畿内周辺に配置していった。豊臣氏を滅ぼした大坂の陣の後、1619年には大坂を幕府の直轄地とし、その周囲に親藩・一門・譜代の大名を配置して、幕府は西国の統制を強めた。

問1 下線部①に関連して、五大老の一人で、この戦いで西軍側の盟主となり、戦いの後に周防・長門の二国に減封された大名の姓名を記しなさい。

問2 下線部②に関連して、徳川秀忠の將軍在任中のできごととして誤っているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 禁中並公家諸法度が制定された。

イ. 九州の諸大名等を動員して島原の乱を鎮圧した。

ウ. 將軍の娘が後水尾天皇に入内した。

エ. スペイン領メキシコとの通商を開くため、田中勝介が同地に派遣された。  
オ. 一国一城令が出された。

問3 下線部③に関連して、関ヶ原の戦いで活躍して、安芸・備後両国に50万石を与えられながら、その後、広島城の無断修築により所領を没収された大名の姓名を記しなさい。

問4 下線部④に関連して、江戸幕府が整備した職制の説明として誤っているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 京都所司代が、朝廷の統制や西国大名の監視などを行った。

イ. 大目付が大名を監察し、目付が旗本・御家人を監察した。

ウ. 郡代や代官が、幕府直轄領の支配にあたった。

エ. 将軍綱吉の時代に置かれた側用人は、将軍の命令を老中に伝え、老中の上申を将軍に伝える役割を果たした。

オ. 町奉行・勘定奉行・遠国奉行は、あわせて三奉行と呼ばれた。

問5 下線部⑤に関連して、畿内五カ国の一つで、大坂城が置かれた国の名を記しなさい。

2 17世紀の経済成長に伴って、人口が著しく増加した。その要因は、家族構造の変容による出生率の上昇が主であったが、死亡率にも改善が見られ、平均余命が伸びたことも知られている。長寿化の背景には、社会全体の生産力が上がり、衣食住をめぐる生活水準が向上したことがあった。<sup>⑥</sup>さらに、医療の進歩も見られた。近世後期には、人々の長寿の可能性は、身分を問わず、拡大した。一般に、死亡率の高い乳幼児期を無事に乗り切り、20歳まで生き延びると、その後60歳以上まで生存することが多かった。多くの人々が老いと向き合って生きることとなった。

百姓の場合、年老いて家督を譲っても、農作業等から引退することはなく、能力<sup>⑧</sup>に応じて働き、一家の生計を支え続けた。武士の場合、70歳を過ぎても現職に踏みとどまるケースが少なからず見られた。近世後期には、以前のような死を前提とした武士道とは異なり、長生きをして長く主君に奉公することに価値を置く考え方<sup>⑨</sup>が生まれたと考えられている。

このように高齢まで働く庶民や武士に対して、18世紀半ば以降、幕藩領主は広

く褒賞を行い、領内の高齢者を城や役所に集めて藩主自らが饗応する催しなどが行われた。これは、老人を敬い、父母に孝をつくす精神を藩主が模範として示すことで、領内に孝養に関する儒学の教えを広め、領内の秩序維持をはかったものと考えられる。<sup>⑩</sup>

問6 下線部⑥に関連して、経済や産業の発展に関して述べた文として正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 出羽村山地方の藍玉、阿波の紅花など、各地で特産物が生産された。

イ. 農具の改良が進み、脱穀に用いる唐箕、選別に用いる千歯扱が考案された。

ウ. 商品生産の発達にともない、草木灰や刈敷などの金肥が普及した。

エ. 瀬戸内海沿岸等で、入浜塩田による塩の生産が行われた。

オ. 菱垣廻船・樽廻船が、江戸から大坂へ木綿・油・酒などを運んだ。

問7 下線部⑦に関連して、文政年間にオランダ商館医のシーボルトが長崎に開いた診療所と私塾を兼ねた施設の名称を記しなさい。

問8 下線部⑧に関連して、有力な地主や町人の中には、隠居して家督を譲った後、学問に身を投ずる者もいた。下総国佐原の酒造家で、49歳で隠居し、江戸に出て本格的に暦学・天文学を学んだ伊能忠敬がその一例である。彼が作成にあたった日本全図の名称を漢字9字で記しなさい。

問9 下線部⑨に関連して、高齢での勤務の例としては、75歳で死去する直前まで在職していた大岡忠相がよく知られている。彼は、徳川吉宗に抜擢されたため、容易に隠居できなかった。彼が町奉行時代に新たに設置した、江戸の消防組織の名称を記しなさい。

問10 下線部⑩に関連して、明治政府が1868年に人民の心得として全国に示した、儒教道德遵守をその内容に含む5枚の高札の名称を記しなさい。

IV 次の文章を読み、設問に答えなさい。解答は漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

新政府は戊辰戦争に勝利し、旧幕府領などに府や県を設置した。そして、1869(明治2)年に薩摩・長州などの四藩主が  を願い出て、その2年後に<sup>①</sup>廃藩置県を断行した。政府は1872(明治5)年に学制を公布し、翌年には徴兵令を定め、青年男子に兵役を義務付け、「国民皆兵」を推進した。その政府軍は、不平士族の期待を集めた西郷隆盛を擁した鹿児島の士族反乱を  年に鎮圧している。

一方、朝鮮で1894(明治27)年に民族主義的な農民の蜂起が起き、朝鮮政府の要請で清国が出兵すると、日本も朝鮮に派兵した。日本は豊島沖で清国艦隊を攻撃し、同年8月に清国に対して宣戦布告している。日清戦争に勝利した日本は、伊藤博文・陸奥宗光が全権となり、清国全権大臣の  との間で1895(明治28)年に下関条約を結んだ。

この日本の勝利と勢力拡大に対し、満州(中国東北部)や朝鮮への進出を企図していたロシアは、ドイツ・フランスを誘って遼東半島を清国に返還するように日本へ求めた  を行った。日本は遼東半島の返還を余儀なくされ、その後にロシアが旅順・大連を租借すると、日本国内でロシアに対する反発が強まった。日本はロシアに対抗して1902(明治35)年に日英同盟を結び、開戦の準備を進めている。そしてロシアとの外交交渉が行き詰まると、1904(明治37)年に戦争を開始した。日本側は苦戦を重ねて旅順要塞を攻略し、奉天の会戦でも総力をあげて勝利している。その一方で日本側の戦費の大半は国債と外国債に依存し、国力の限界に達していた。戦争はアメリカ合衆国大統領セオドア＝ローズヴェルトが講和の斡旋に立ち、1905(明治38)年にポーツマス条約が結ばれた。

その後、藩閥政治に対する批判が強まると、<sup>②</sup>第一次護憲運動<sup>③</sup>が<sup>③</sup>おこり、民主主義の風潮が大正デモクラシーと呼ばれるようになる。吉野作造が民本主義を掲げ、美濃部達吉は天皇を国家の最高機関とし、主権は国家にあるとする  を唱えていた。一方、1914(大正3)年にはヨーロッパで第一次世界大戦がはじまり、日本も日英同盟を理由にドイツに宣戦布告し、青島やドイツ領南洋諸島を占領した。翌年には中国

の袁世凱政権に対して二十一か条の要求を突き付けることにより、ドイツ権益の譲渡などを求め、露骨な内政干渉を行った。そして1919（大正8）年のヴェルサイユ条約で、日本はこの利権を獲得したが、1922年には返還を余儀なくされている。その後も、日本の F 内閣は、1927（昭和2）年にドイツが権益を有していた省に出兵し、翌年に済南事件を引き起こしていた。

- 問1 空欄Aに入る語を記しなさい。
- 問2 空欄Bに入る西暦年を記しなさい。
- 問3 空欄Cに入る人名を記しなさい。
- 問4 空欄Dに入る語を記しなさい。
- 問5 空欄Eに入る語を記しなさい。
- 問6 空欄Fに入る人名を記しなさい。
- 問7 下線①の廃藩置県について、誤っているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 廃藩置県で北海道などの一部を除く地域に府県が設置された。
  - イ. 廃藩置県の詔書が1871年に出された。
  - ウ. 廃藩置県後、地方には府知事・県令が派遣された。
  - エ. 廃藩置県後に旧藩主は東京に集められた。
  - オ. 廃藩置県断行のために薩摩・長州・土佐・肥前四藩の軍事力が東京に集められた。
- 問8 下線②のポーツマス条約で日本が獲得した権益に関する説明として、誤っているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. ロシアは沿海州などの漁業権を日本に認める。
  - イ. ロシアは韓国における日本の指導権を承認する。
  - ウ. ロシアは中国の同意を条件として、旅順・大連の租借権と長春以南の鉄道および付属地の権利を日本へ譲渡する。
  - エ. ロシアは南満州における日本人の開墾・入植を承認する。
  - オ. ロシアは北緯50度以南の樺太を日本へ譲渡する。

問9 下線③の第一次護憲運動に関する説明として、誤っているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 憲政会・立憲政友会・革新倶楽部の三派が提携し、政党内閣確立を訴えた。
- イ. 立憲政友会の尾崎行雄、立憲国民党の犬養毅らが倒閣運動をすすめた。
- ウ. 陸軍の二個師団増設要求で第二次西園寺内閣が倒壊したことについての批判が存在した。
- エ. 長州藩閥の桂太郎が三回目の組閣をしたことに対する反発が契機になった。
- オ. 政党・新聞記者の提唱で憲政擁護・閥族打破の大会が開催された。

問10 下記の史料は、日本が中国の袁世凱政権に突き付けた下線④の二十一か条要求の一部である。空欄に入る語句を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい（『日本外交年表並主要文書』参照）。

「支邦国政府ハ独逸国カ  ニ関シ条約其他ニ依リ支邦国ニ対シテ有スル一切ノ権利利益讓与等ノ処分ニ付、日本国政府カ独逸国政府ト協定スヘキ一切ノ事項ヲ承認スヘキコトヲ約ス」

- ア. 膠州湾      イ. 南満州      ウ. 青島      エ. 山東省      オ. 旅順